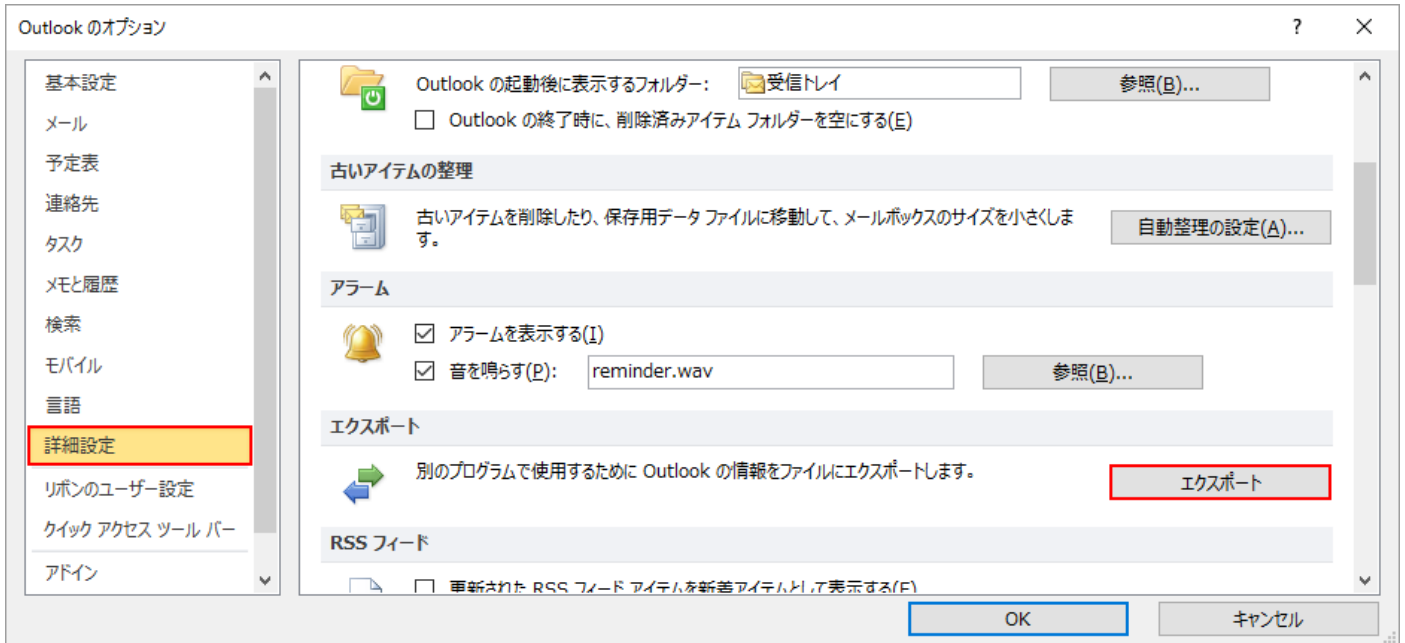


OUTLOOK の連絡先を Windows Live Mail のアドレス帳に引き継ぐ

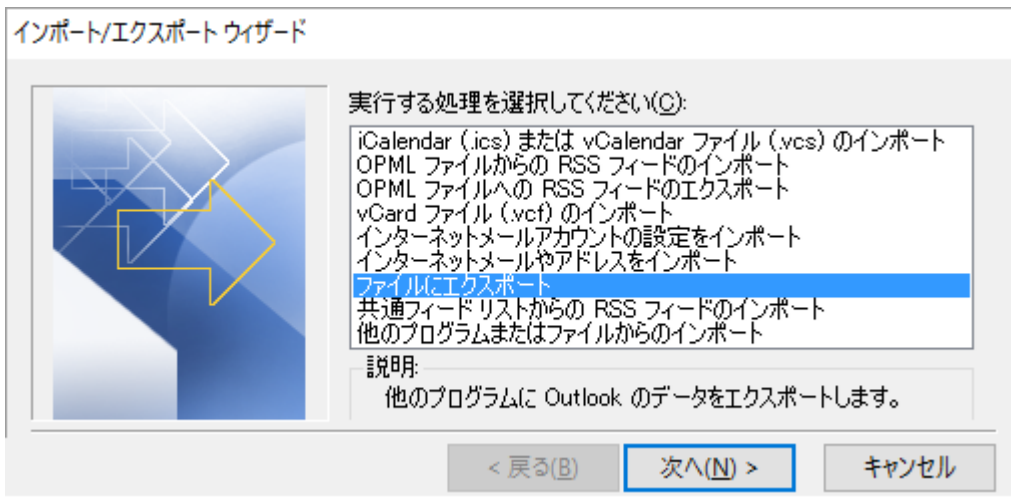
2016-05-15 三宅 節雄

I. 連絡先のエクスポート

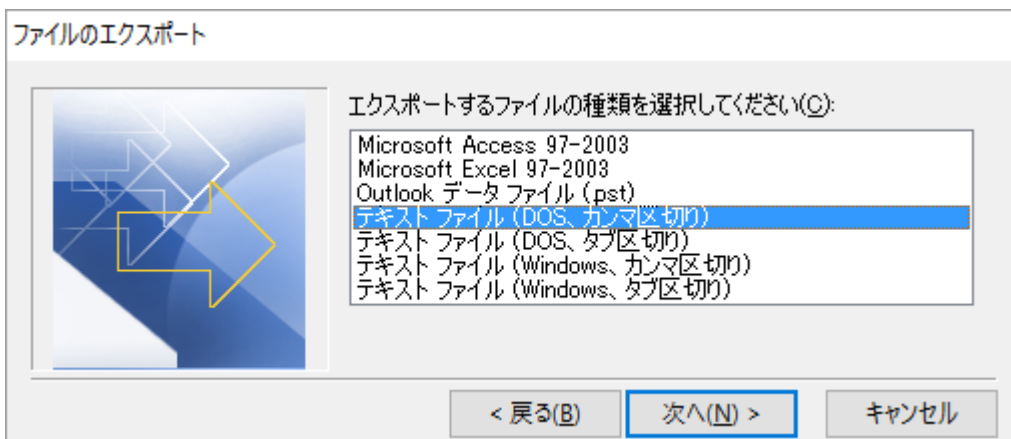
1. OUTLOOK を起動
2. 「ファイル」から「オプション」をクリック
3. 「詳細設定」から「エクスポート」の右の「エクスポート」をクリック



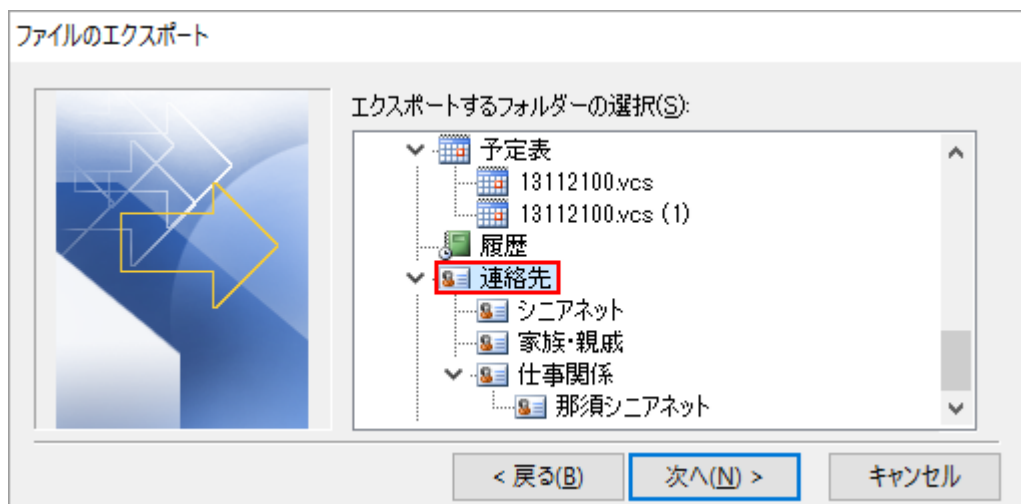
4. ファイルにエクスポートを選択して「次へ」をクリック



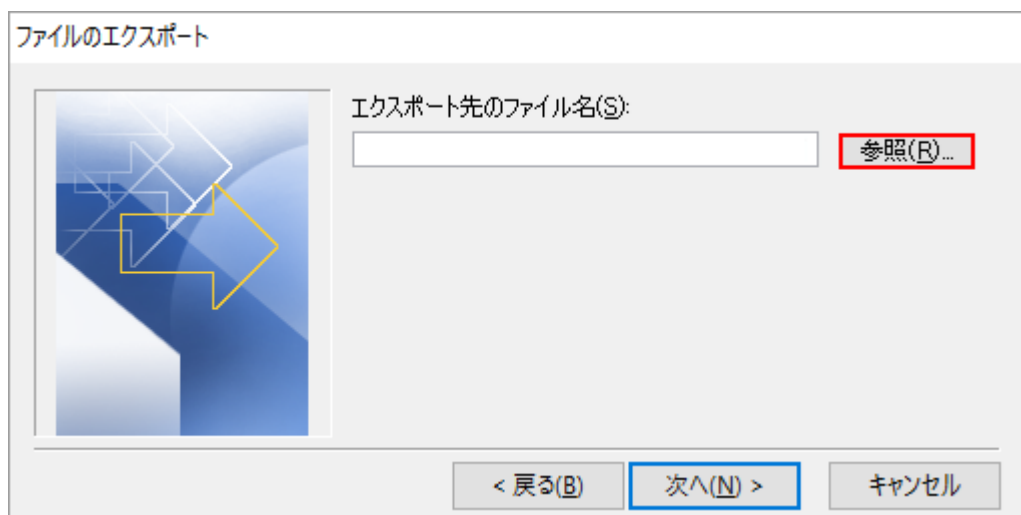
5. テキスト ファイル (DOS、カンマ区切り) を選択して次へをクリック



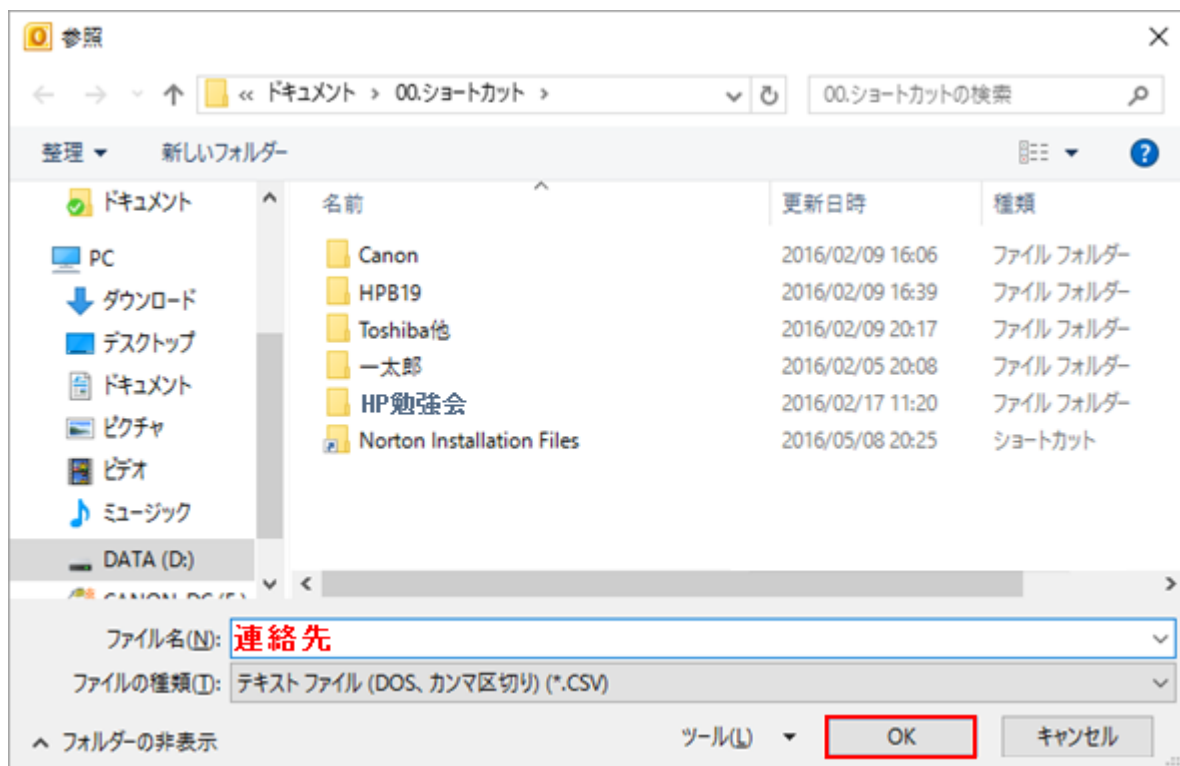
6. どの項目をエクスポートするか？勿論連絡先ですから連絡先をクリックして選択し、次へをクリックします



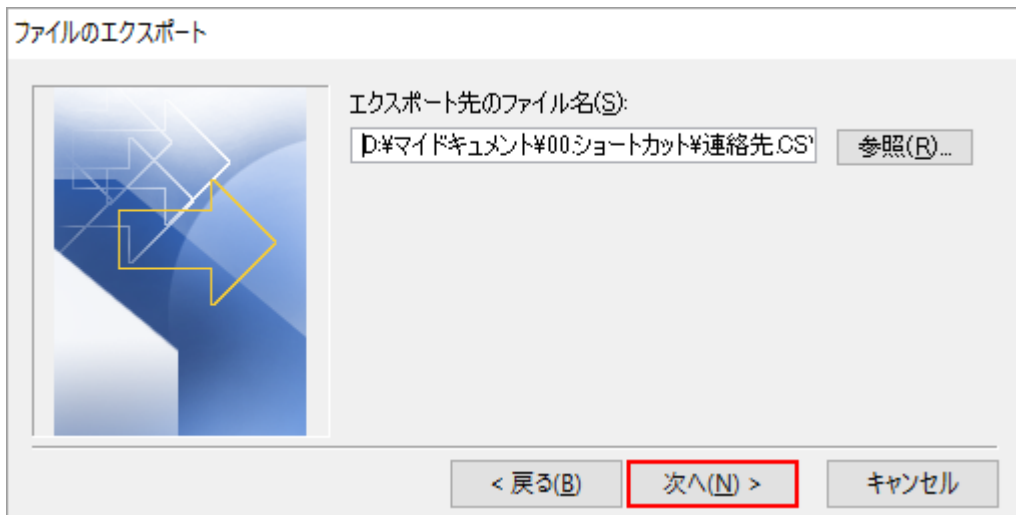
7. 参照をクリックします



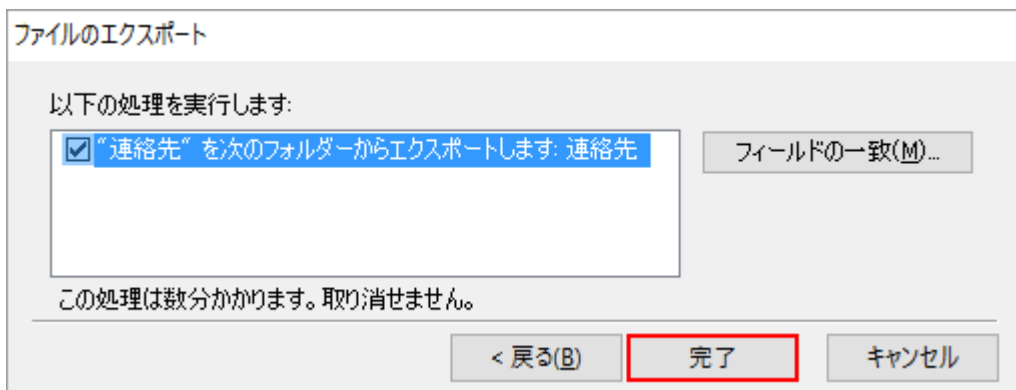
8. 保存したいフォルダーを選択し、ファイル名も記載し、OK をクリックします



9. 次へをクリックします。



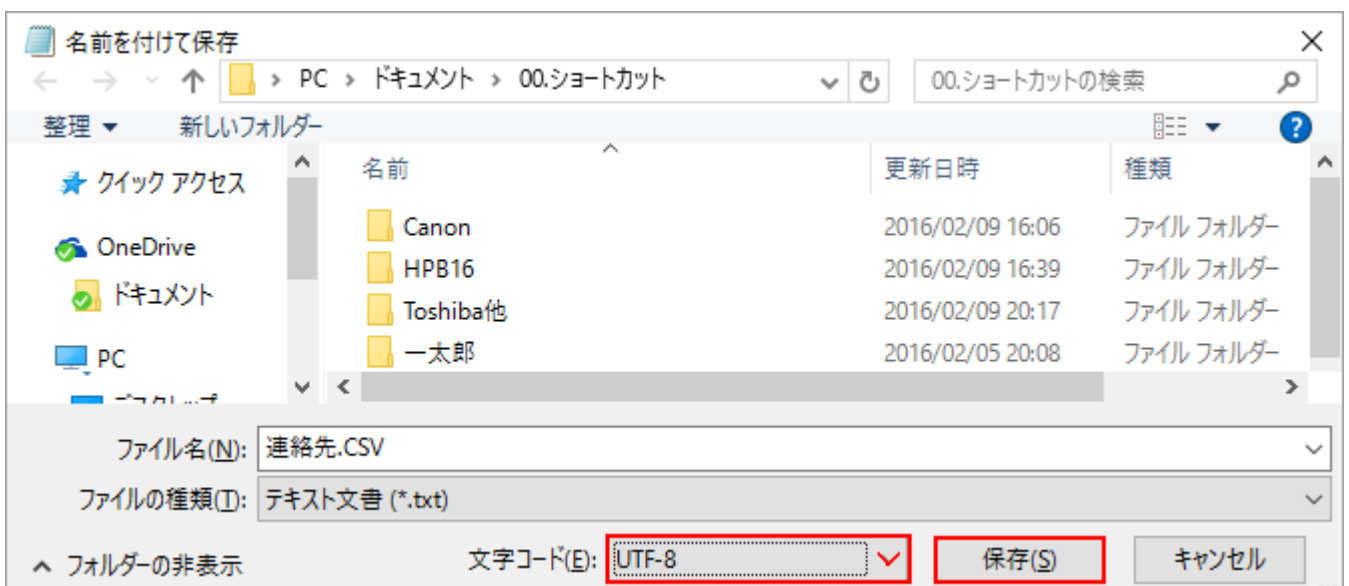
10. 完了をクリックするとエクスポートされます



II. モードの変換

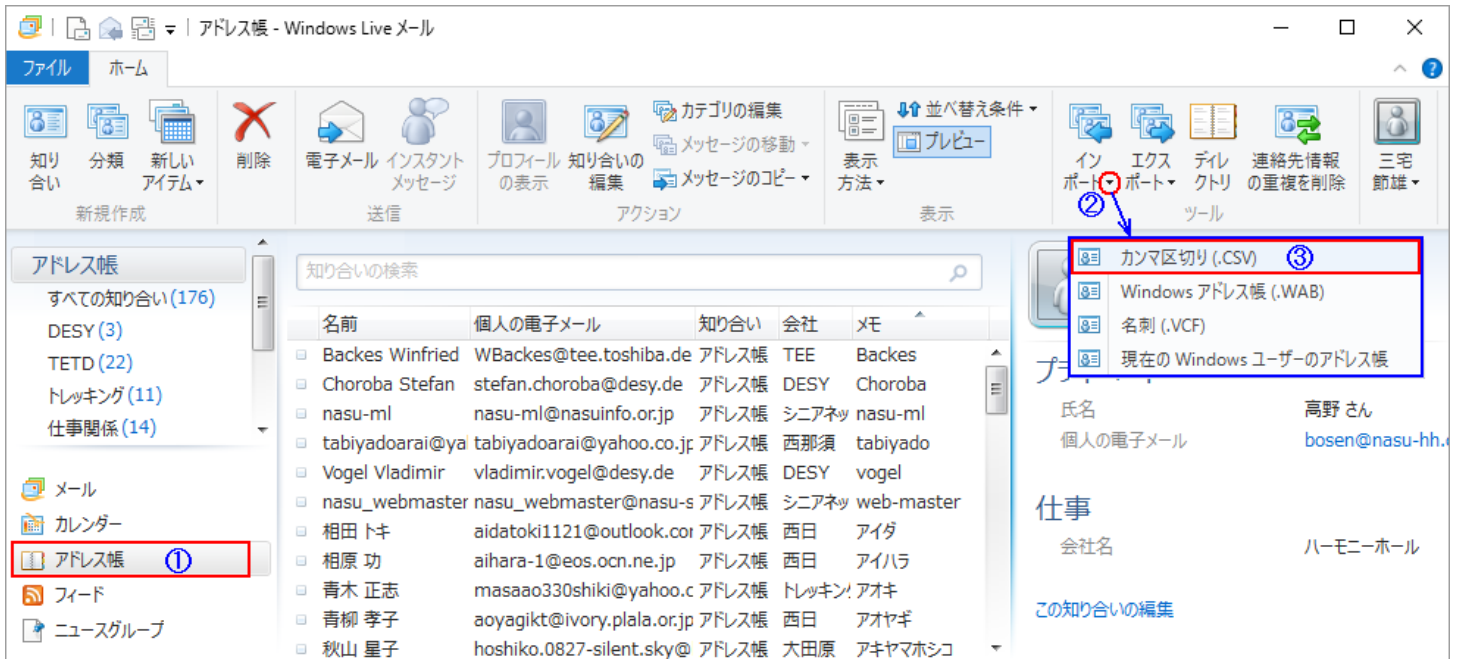
OUTLOOK からエクスポートしたデータは普通のテキストモードで、Windows live メール のアドレス帳とは文字コードが異なり、そのままインポートすると文字化けしてしまいます。従ってファイルの文字コードの変換が必要です。

1. I で設定し保存した****.CSV ファイルをアドレス帳で開きます。
2. 「ファイル」→「名前を付けて保存」ですが、ここで「文字コード」を下向き矢印で ANSI から UTF-8 に変えて保存します。ファイル名、ファイルの種類はそのままで OK です。

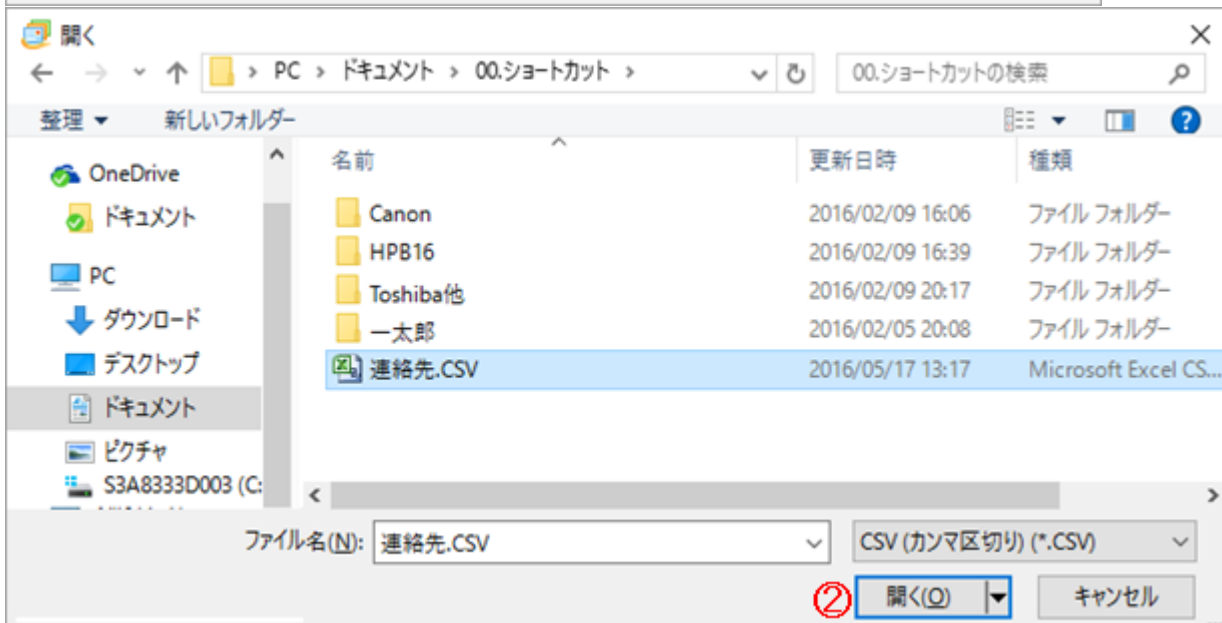
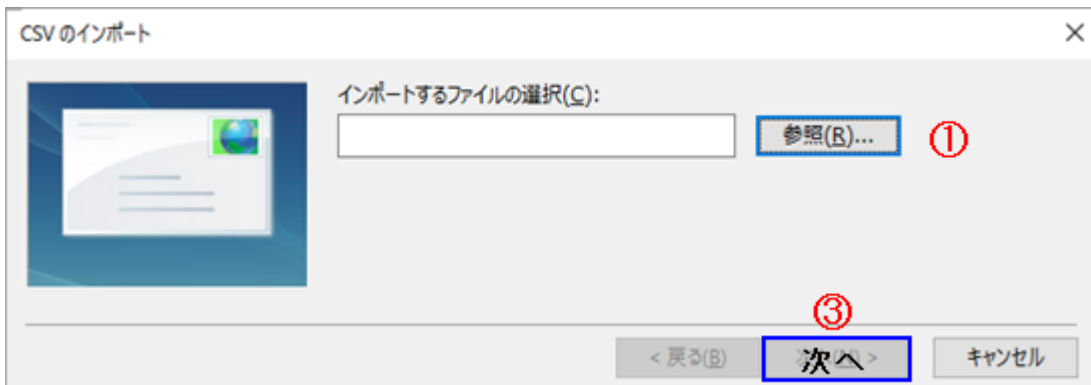


III. アドレス帳のインポート

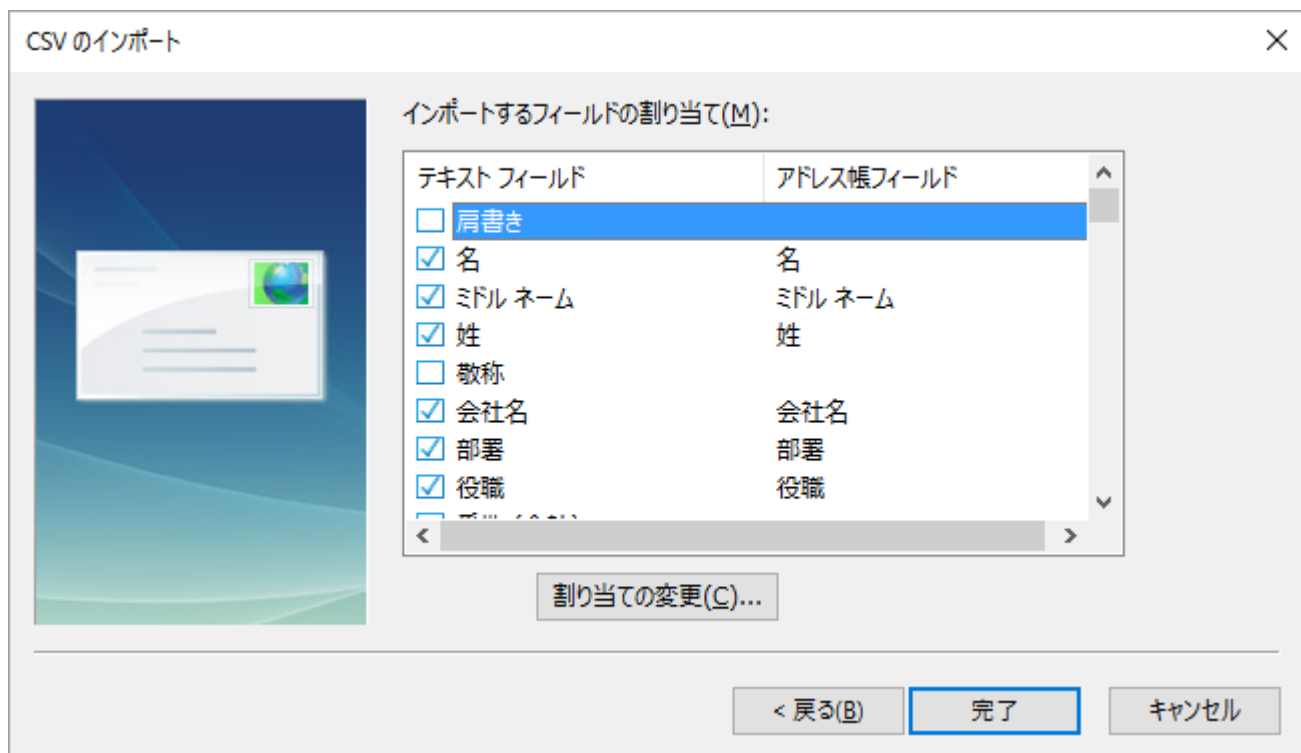
1. Windows Live Mail を起動します。
2. ①左下のアドレス帳をクリックします。
3. ②インポートの▼をクリックします。
4. ③カンマ区切り(.CSV)をクリックします。



5. 下記画面になりますから、①参照をクリックして先ほどの CSV ファイルを指定し、②開くをクリックし、③次へをクリックします。



6. 下記画面になりますから、左右のインポートするフィールドが同じであることを確認して完了をクリックします。



通常は、左右のフィールドが同じですが、左右のフィールドが一致しない場合には割り当ての変更が必要です。

以上で連絡先からアドレス帳へのデータ取り込みは完了です。